



JTUC-aomori

No.394 2022年11月

れんごろう 青森

発行 日本労働組合総連合会
青森県連合会(連合青森)
発行人 大澤祥宏 編集人 堤 史子
青森市本町3丁目3の11
青森県労働福祉会館内
TEL (017)735-0551
FAX (017)735-0553
URL <http://aomori.jtuc-rengo.jp/>
月1回発行 1部10円
(組合員の購読料は会費の中に含む)



連合青森第22回地方委員会

労働運動の更なる前進に向け、方針補強を確認！

連合青森第22回地方委員会が10月26日(水)14時から弘前市の弘前パークホテルで地方委員、役員など約80名が出席し開催された。

地方委員会は谷川浩二津軽地協議長の開会あいさつで始まり、議長に金子純子地方委員(UAゼンセン)を選出し、議事が進められた。

主催者あいさつに立った塩谷進会長は冒頭、8月に県内で発生した豪雨災害により被災された方々にお見舞い申し上げるとともに、早期復旧に向け取り組んでいる構成組織の皆さんに感謝の意を表した後、『政治』『次代を見据えた人財』などについて述べた。『政治』については、新型コロナウイルス・物価高対策、社会保障・税制など国会での対応結果が我々の生活に大きく影響することを述べ、「政治に無関心でも無関係ではいられないことを再確認し取り組みを強化する」と強調した。また『次代を見据えた人財』については、県内の労働力人口の減少に伴い組合員も減少傾向にある実状に触れ、「組織の源泉は人。誰ひとり取り残されることのない持続的で包括的な社会を実現するには労働運動の継承・発展が重要。そのためにも組織強化、組織拡大に取り組み、次世代を担う人財の確保・育成に向け県内構成組織が連携し推進することをお願いする」と要請した。

この後来賓あいさつに移り、弘前市商工部西谷慎吾部長、立憲民主党県総支部連合会田名部匡代表、国民民主党舟山康江参議院議員、県民社協会一戸富美雄会長より激励のあいさつをいただ

き、連合芳野友子会長からのメッセージが披露された。

次に「活動報告、会計報告、会計監査報告」が行われ、満場一致で採択された。続いて議事に移り、「集团的労使関係の追求」や「青森県笑顔と元気のプラットフォームの構築」、「一人ひとりが尊重された真の多様性が根付く職場・社会の実現」、「政策実現に向けた政治活動の推進」などを盛り込んだ第1号議案「2022~2023年度運動方針の補強(案)」、第2号議案「2022年度一般会計剰余金の処理(案)」、第3号議案「2023年度予算(案)」、第4号議案「第17期役員補充」について満場一致で採択された。

地方委員会終盤に入り、連合愛のカンパ地域助成団体となった『東北町サポートピノキオ』の高田理子代表からのお礼メッセージが放映された。

続いて、来春まで執行される数々の各級選挙において推薦候補者の全員当選を目指すとした「選挙闘争勝利に向けた特別決議」、労働運動のさらなる前進に向け、組織力、政策力、発信力をより一層高め、持続・発展させるとした「アピール」を採択し、塩谷会長の音頭で団結ガンパローを三唱し、意思統一を図った。



未来に向け資源・環境を引き継ぐために!

食・みどり・水を守る街頭行動

連合青森は本県の基幹産業である農業・林業などに関する環境問題に対応し、県民の関心を高め、「青森県のおいしい食べ物と水、豊かな自然を守り育て、地産地消を広げよう」という趣旨で、連合青森加盟の関係労組（自治労、全農林、全水道、林野労組、自動車総連）により「食・みどり・水のフェスティバル」を毎年開催している。

今年は新型コロナウイルス感染症拡大により開催は中止としたものの、本活動を理解いただき、資源を守り続けるという意識啓発を目的に「食・みどり・水を守る街頭行動」を実施した。

街頭行動では、国際競争力で弱い立場の日本農林業が衰退の一途を辿っていること、その背景に



は過疎化と高齢化、地球規模の環境破壊が関係していること、また世界的には飢餓と貧困に苦しむ人が多くいることを訴え、青森県産米2合と青森の天然水のセット360袋を道行く市民に手渡した。

この米は青森市内の契約農家が収穫したもので、同じものを今後、「アジア・アフリカ支援米」として多くの子供たちが飢えて苦しんでいるマリ共和国に向けて600kg送られる。

災害用非常食75食を青森県母子寡婦福祉連合会へ贈呈

『大規模災害備蓄品運動』『フードバンク運動』

『大規模災害備蓄品運動』により備蓄の役割を終えた災害用非常食について、①食品ロス削減、②生活困窮者支援により有効活用を図るとし、昨年より展開した『フードバンク運動』。

今回は1組織からレトルトごはんやハンバーグ煮込み、豚汁など75食が寄せられ、11月8日（火）、ひとり親世帯の支援をしている（公財）青

森県母子寡婦福祉連合会（秋田谷洋子会長）へ寄贈することになった。



この食料品は市町村組織などを通じ、ひとり親世帯に届けられる。

2022年11月行動予定 11月10日現在

- 11月12日(土) 13時30分 県労働福祉会館
「女性委員会第30回総会・学習会」
- 11月12日(土) 14時30分 アスパム5階
「立憲民主党青森県連との
2022年度第1回定期協議」
- 11月18日(金) 11時 県労働福祉会館
「青森県退職者連合第32回定期総会」
- 11月18日(金) 18時 五所川原市 プラザマリユウ
「西北五地協第34回定期総会」
- 11月18日(金) 18時30分
むつ市 ホテルニューグリーン
「下北地協第34回定期総会」
- 11月19日(土) 16時 八戸市 三八労福会館
「三八地協第34回定期総会」

- 11月22日(火) 18時 十和田市 JA十和田おいらせ
「上十三地協第34回定期総会」
- 11月24日(木) 18時 弘前市 弘前パークホテル
「津軽地協第34回定期総会」

2022年12月行動予定

- 12月3日(土) 13時30分 県労働福祉会館
「青年委員会第33回総会・学習会」
- 12月8日(木)～9日(金) 10時～18時
「全国一斉なんでも労働相談ダイヤル」

実現しよう、過労死等 こんなことに心当たりはありませんか？

11月は過労死等防止啓発月間

- ✓ 長時間労働が続いている
- ✓ 周囲に相談相手がない
- ✓ 遅刻や早退をしようとするが増えた
- ✓ 急に気分が沈んだりする

これらは、ストレスの原因やメンタル不調時に現れやすいサインの例です。

●厚生労働省 **こころの耳 相談窓口** <https://kokoro.mhlw.go.jp/agency/>

相談無料 フリーダイヤル いじょう れんごうに

☎ 連合 **なんでも労働相談ホットライン** 秘密厳守 ☎ **0120-154-052**